

2023年7月

DXが進める病院と 地域医療の改革

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院
病院長 長堀 薫

医療のパラダイムシフト

地域医療構想

高度急性期

機能分化

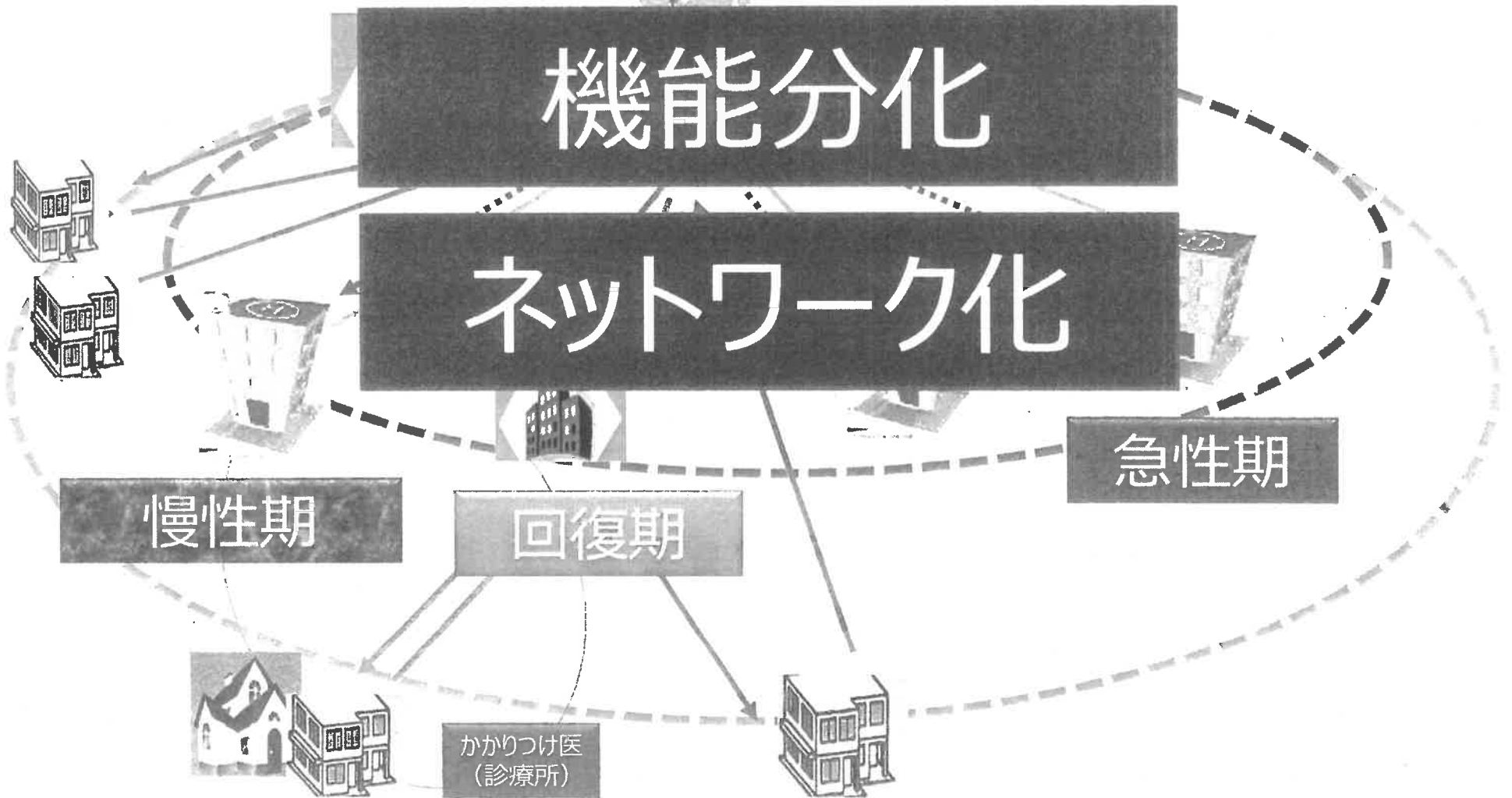
ネットワーク化

急性期

慢性期

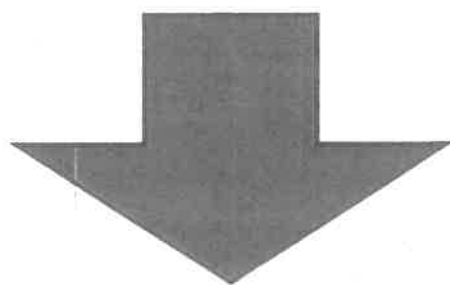
回復期

かかりつけ医
(診療所)



1病院完結型

治す医療



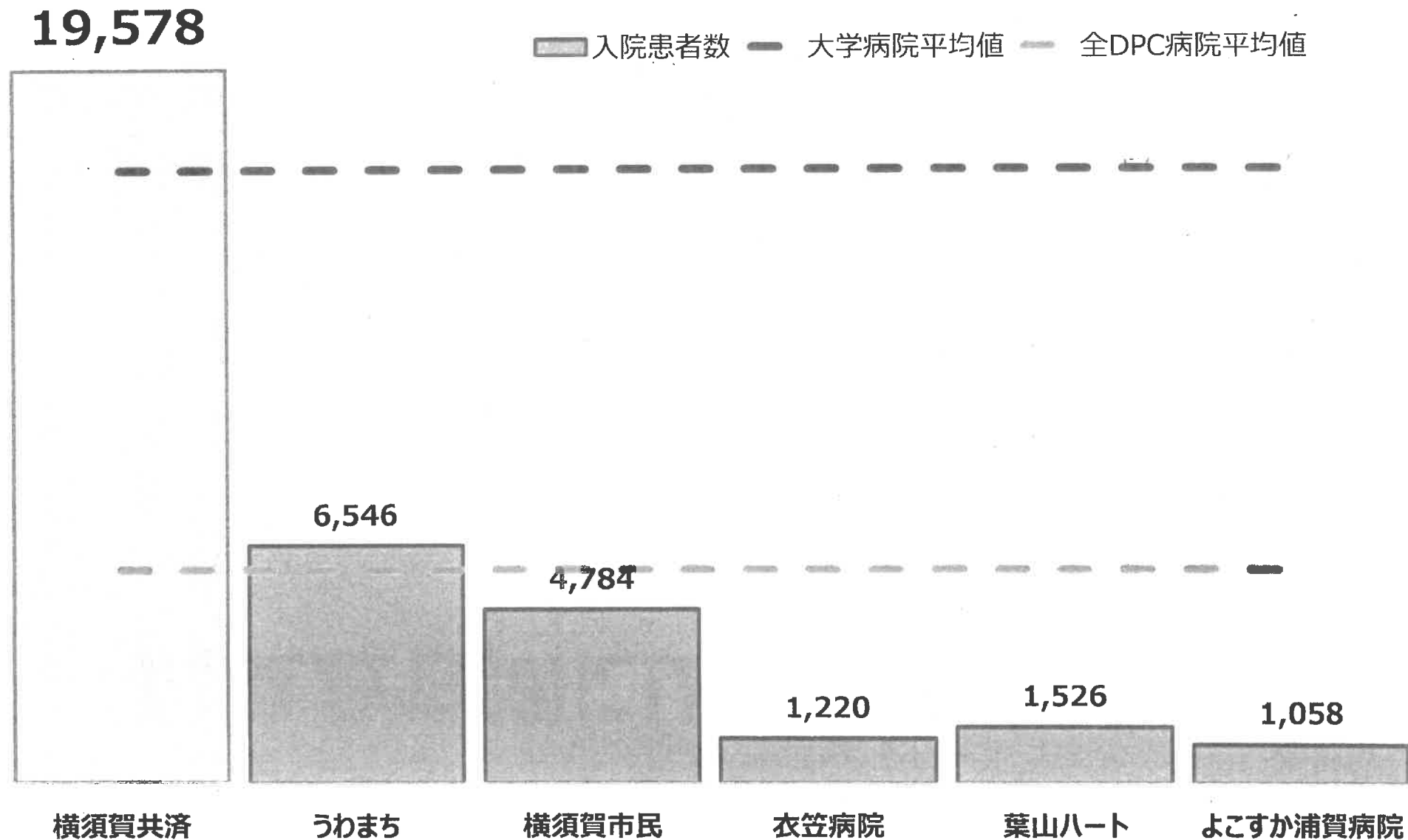
地域完結型

地域全体で治し、支える医療

三浦半島急性期病院比較_患者数

横須賀・三浦医療圏のうち、鎌倉市を除く3市1町のDPC病院限定

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000196043_00004.html



高度急性期にリソースを集中

○ これから

○

特定ICU開設
精神科病棟開設(総合入院体制加算1)

○

機能分化

分院(慢性期)統合
訪問看護ステーション閉鎖
回復期リハビリテーション病棟 一般へ機能転換

○

平均在院日数短縮
医療連携推進

効率化

ネットワーク化

アライアンス病院の経時的変化

2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
4 病院	5 病院	6 病院	9 病院	11 病院			12 病院	17 病院
横須賀共済病院 衣笠病院 聖ヨゼフ病院 三浦市立病院	金沢文庫病院	済生会若草病院	よこすか浦賀病院 パシフィックホスピタル 湘南病院	葉山ハートセンター 清川病院			金沢病院	横浜なみきリハ クローバーホスピタル うわまち病院 横須賀市民病院 鎌倉病院

2014

2022

アライアンス

4

 病院

鎌倉市	0
逗子市	0
葉山町	0
横須賀市	3
三浦市	1
他医療圏	0



アライアンス

17

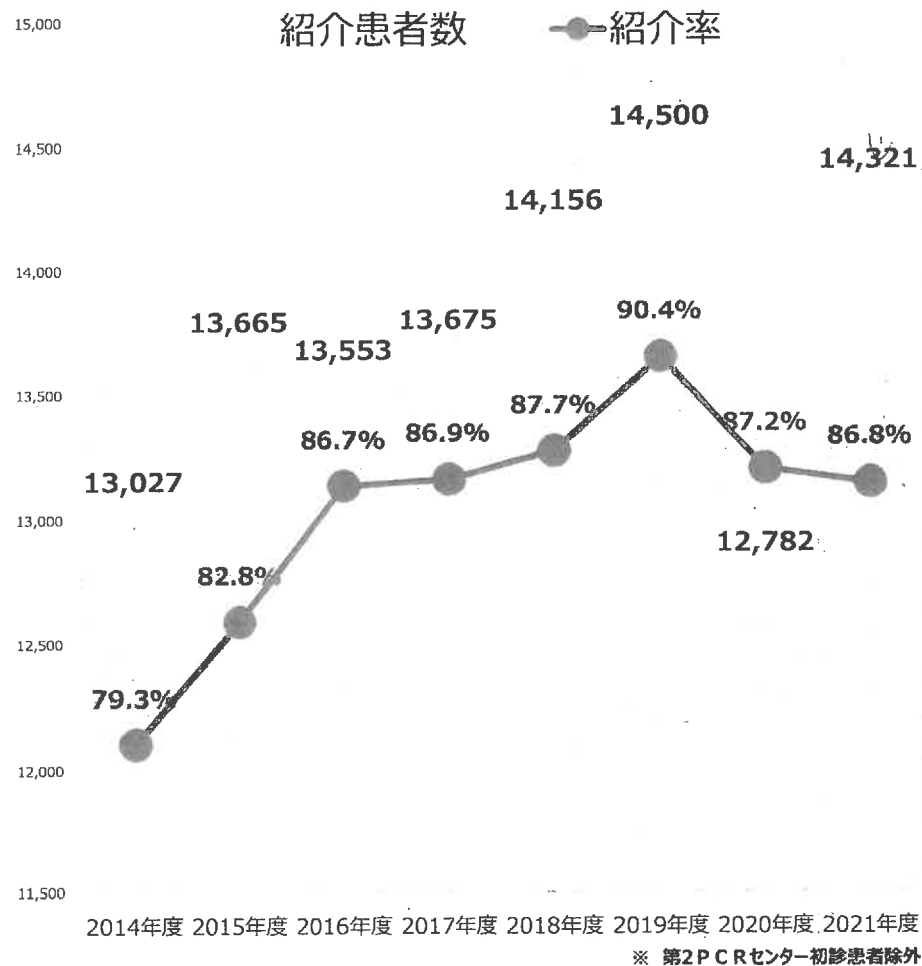
 病院

鎌倉市	3
逗子市	0
葉山町	1
横須賀市	7
三浦市	1
他医療圏	5

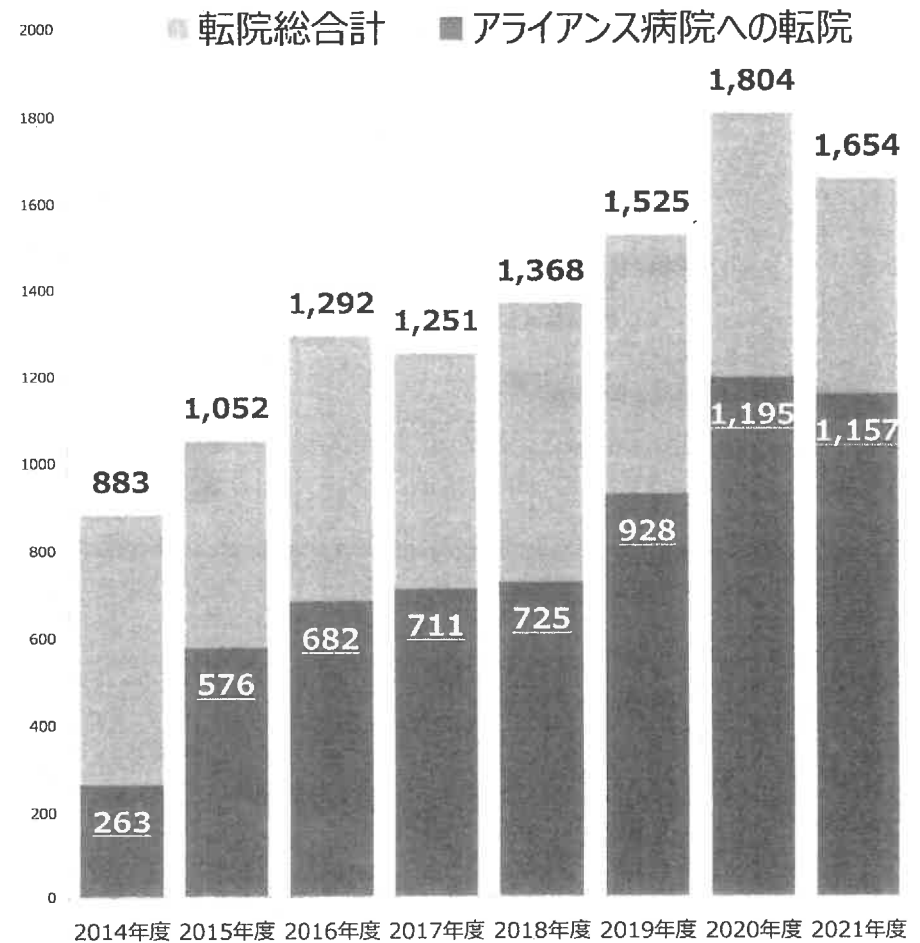


データで見る地域連携

前方連携 → 増患



後方連携 → 新入院患者数増加



地域医療アライアンスの強化

地域医療連携推進法人とは

- 良質な医療を効率的に提供するため、
病院等が連携し業務を行うことを推進する
“国が求める最終形”
- 都道府県知事が認定する
- 現時点で、全国に33法人

日本海ヘルスケアネット設立の目的

危機意識

- 庄内地区の減少する人口、限られた医療資源で、この先どうやっていくか？
- 市民を守るためには、自分たちが存続しなくてはならない！

統合・再編について

山形県立日本海病院
(528床、25科、医師72名)



平成5年開院以来
の赤字経営

老朽化

診療機能の重複

酒田市立酒田病院
(400床、15科、医師40名)



平成20年4月 再編・統合
地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構が発足

日本海総合病院
(634床、27科、医師154名)



- ◆ 病院機能の分化・集約
→ 平均在院日数：約6日短縮
- ◆ 診療科の再編・医師の集約
- ◆ ICTネットワークで診療録共有

酒田リハビリテーション病院
(114床、2科、医師4名)



連携推進法人構成メンバー

山形県・酒田市病院機構

日本海総合病院

酒田リハビリテーションセンター

クリニック

医師会

歯科医師会

薬剤師会

5つの法人

施設・老健など

連携事業

診療機能の集約化

人事交流

デジタル情報の共有化

地域フォーミュラ

入院→在宅への円滑な移行

地域医療連携協定を促進するための事業化 についての提案

【趣旨・目的】

- 地域医療連携協定を締結している医療機関間で、病床機能の役割分担や円滑な患者搬送などの取組みを行うことで、“事業連携等”を促進し、地域医療構想を推進する
- 協定内に具体的な役割分担の内容や患者搬送のルール等を記載し“事業連携等”を具体化することで、地域医療構想に資することを明確化する
- 横須賀・三浦地域の地域医療連携協定を「地域医療構想に資する」取組として、地域医療介護総合確保基金区分Ⅰへ位置付けることを提案する

【事業内容】

対象参加者	協定に参加している医療機関、再整備を実施する地域医療支援病院
補助内容	・協定に基づいた病床転換等に対する支援 (とりまとめた地域医療支援病院等の成果に対するものと、協定に参加している医療機関に対するもの) ・地域医療支援病院等の再整備に係る費用の一部補助

医療DX





ご清聴ありがとうございました



横須賀市長 上地克明様より届いたカーネーション200本

